



奈良県立医科大学

平成25年 4月 1日

奈良県立医科大学に新たな寄附講座を開設しました。

公立大学法人奈良県立医科大学（奈良県橿原市、理事長 吉岡 章）は、学校法人栗岡学園（大阪府四條畷市、理事長 栗岡良幸）からのご寄附により、寄附講座「スポーツ医学講座」を開設しました。

□ 寄附講座とは

寄附講座とは、企業等からの申し出により研究者の人件費等の運営経費を寄附金により賄い、大学として教育・研究を充実するために開設する講座のことで、奈良県立医科大学では、「住居医学講座（平成18年度開設）」、「血栓制御医学講座（平成21年度開設）」、「血圧制御学講座（平成22年度開設）」、「人工関節・骨軟骨再生医学講座（平成23年度開設）」に次ぐ5番目の寄附講座になります。

□ 寄附講座「スポーツ医学講座」の概要

- ・研究領域 スポーツ傷害の病態解明および低侵襲治療法の開発・臨床応用
- ・寄附講座教員

教授（寄附講座） ^{くまい}熊井 ^{つかさ}司（前 奈良県立医科大学整形外科学 講師）

助教（寄附講座） ^{おがわ}小川 ^{むねひろ}宗宏（現 奈良県立医科大学整形外科学 助教）

※ 就任年月日：平成25年4月1日

※ 小川整形外科学助教は当該寄附講座助教を兼務します。

- ・講座開設期間 平成25年4月1日～平成31年3月31日（6年間）
- ・寄附者 学校法人 栗岡学園
（大阪府四條畷市田原台6丁目1番地1号）
- ・寄附総額 1億2千万円（6年間）

□ 寄附講座「スポーツ医学講座」の設置目的

近年生活レベルの安定と質の向上に伴い健康生活へのスポーツ活動の持つ重要性は広く認識されつつあります。しかし、同時にスポーツ活動による傷害（外傷・障害）の発生も多くみられるようになり、またその病態もより複雑になってきています。こういった社会的背景のもと、スポーツ傷害における病態を解明し、有用な治療法を開発するといった医学的観点からの研究

の需要が拡大しつつあります。

本講座は、スポーツ傷害の病態を解析し、新しい治療法を開発するための基礎的研究を行うとともに、スポーツ傷害全般に対し高度な専門性に基づく臨床診療・介入を行うことで、現場での傷害予防およびスポーツ活動による健康寿命の延伸に寄与することを目的とします。

□ 寄附講座で今後取り組む研究内容

スポーツ傷害の中でも特に難治性とされるオーバーユース障害の病態解明と、アスリートにとって重要な早期復帰を可能ならしめる低侵襲治療法の開発およびその臨床および基礎研究を行います。その中でも近年、早期のスポーツ・社会復帰を可能にする低侵襲手術法として注目されつつある内視鏡・関節鏡を用いた鏡視下手術の技術開発を行い、その有効性についての検証を進めていきます。

またスポーツ現場での傷害予防への取り組みとして、アスレチックトレーナーの養成、スポーツドクターとの連携を深めるための組織作りおよび地域健康スポーツ施設での傷害予防教育にも積極的に取り組んでいきます。

□ 寄附講座設置に当たってのコメント

《公立大学法人奈良県立医科大学 理事長 吉岡 章》

奈良県立医科大学は、教育・研究・診療活動を通じて地域医療の発展に寄与すべく、種々の取組を行っています。研究においては、その成果を広く社会に還元するため、産学官連携を積極的に推進しています。

このたび、学校法人栗岡学園から、健康寿命の延伸へ寄与することを目的とした寄附講座を提供していただけることとなりました。

今後6年間にわたり、当寄附講座において、スポーツ障害に関する治療法開発や基礎研究を行うとともにスポーツ現場での障害予防と早期復帰への取り組みを積極的に進めてまいります。そして、その研究成果を、県民の皆様だけでなく国民全体の健康増進に役立てていきたいと考えています。

《学校法人 栗岡学園 理事長 栗岡 良幸》

地域医療を担う人材の育成に長年携わってきた当学園にとって、優れた研究・臨床実績を持つ奈良県立医科大学でのスポーツ医学講座開設に協力させて頂くことを大変うれしく思っています。

学校法人栗岡学園は、以前からの2つの看護専門学校に加え、平成7年に大阪府四條畷市田原台に阪奈リハビリテーション専門学校、そして平成12年4月には奈良県生駒市に奈良リハビリテーション専門学校を開設してきました。障害を持った多くの方々が、運動することを通して社会へ復帰し健康生活を営むことができるようになるため、医療貢献できる専門的な知識と技術を習得した人材を育成することは我々の理念であります。

スポーツ活動が持つ健康生活への有用性が広く認識されるようになってきている昨今、奈良県立医科大学スポーツ医学講座のサポートを通して、さらに医療に貢献していけることを楽しみにしております。

《スポーツ医学講座 教授 熊井 司》

このたび、学校法人栗岡学園より奈良県立医科大学にスポーツ医学講座開設のための寄付の申し出があり、その講座を私が担当させて頂くことになりました。大変光栄なことと存じております。

近年の先進諸国での生活の安定、質の向上に伴い、健康志向によるスポーツ活動の重要性はますます高くなるとともに、反面、社会発展のための過剰労働も余儀なくされる時代へと変遷しつつあります。私がこれまでに取り組んできましたオーバーユースによる障害は、こういった背景のもとスポーツの現場のみならず日常生活における障害としても難治性の病態をとることが知られています。スポーツ傷害の一つとしてのオーバーユース障害について、その病態解明と新しい低侵襲治療法の開発および臨床研究を進めていくとともに、産学官連携を積極的に進め、スポーツ装具、スポーツアパレルといった広くスポーツ科学全般に関連した企業のニーズにも対応することで、健康寿命の延伸に通じる研究成果を挙げていきたいと考えております。

□ 教員就任予定者の略歴

・教授（寄附講座） 熊井 司

くまい つかさ	
熊井 司 (52歳)	前 奈良県立医科大学整形外科学 講師
昭和61年 3月	奈良県立医科大学医学部卒業
同 年 5月	奈良県立医科大学附属病院 臨床研修医
昭和62年 1月	奈良県救命救急センター 臨床研修医
昭和62年 7月	町立榛原総合病院 整形外科医員
平成 元年 7月	国立療養所紫香楽病院 整形外科医員
平成 2年 7月	市立松原病院 整形外科医員
平成 4年 7月	医療法人奈良東病院 整形外科医員
平成 6年 1月	国家公務員共済組合連合会大手前病院 整形外科医員
平成 9年 1月	奈良県立奈良病院 整形外科医長
平成12年 1月	英国ウェールズ大学 Musculoskeletal Biology and Sports Medicine Research 及びドイツ・ミュンヘン大学 解剖学教室 留学
～平成14年 3月	
平成14年 4月	医療法人阪奈中央病院 整形外科部長
平成16年 7月	奈良県立医科大学整形外科学 助手
平成17年 3月	タイ・チェンマイ大学 派遣研究員
平成18年 4月	奈良県立医科大学整形外科学 学内講師
平成21年 10月	奈良県立医科大学整形外科学 講師
昭和61年 5月	医師免許
平成 9年 3月	医学博士（奈良県立医科大学）
平成11年 12月	奈良県立医科大学 整形外科同門会 学術奨励賞
平成12年 10月	日英整形外科合同会議, Best Poster Award
平成16年 3月	米国整形外科学会, Best Poster Award



平成 16 年 4 月	奈良県立医科大学 中島佐一学術研究奨励賞
平成 16 年～	シマレーシング・プロサイクリングチーム チームドクター (現任)
平成 17 年 5 月	日・独・韓整形外科スポーツ医学会 Traveling Fellowship
平成 18 年 12 月	福建医科大学 客員教授 (現任)
平成 19 年 7 月	米国足の外科学会, 1st Place E-poster Award
平成 22 年～	Jリーグ柏レイソル チームドクター (現任)
平成 23 年 4 月	立命館大学スポーツ健康科学部 非常勤講師 (現任)
平成 23 年～	日本バレーボール協会 メディカル委員会学術部員 (現任)
平成 23 年 9 月	国際足の外科学会, Best Paper Award

・ 助教 (寄附講座) 小川 宗宏

おがわ むねひろ	
小川 宗宏 (40歳) 現 奈良県立医科大学整形外科学 助教	
平成 9 年 3 月	自治医科大学医学部卒業
同 年 5 月	奈良県立奈良病院 研修医
平成 11 年 7 月	室生村国民健康保険直営東里診療所 医師
平成 13 年 7 月	奈良県立奈良病院 整形外科 医員
平成 14 年 7 月	奈良県立救命救急センター 整形外科 医員
平成 15 年 7 月	大塔村立診療所 医師
平成 17 年 7 月	奈良県立五條病院 整形外科 医員
平成 20 年 4 月	北海道大学 スポーツ医学診療科 医員
平成 21 年 8 月	奈良県立医科大学附属病院 整形外科 医員
平成 23 年 4 月	奈良県立医科大学整形外科学 助教 (現在に至る)
平成 9 年 5 月	医師免許
平成 24 年 11 月	医学博士 (奈良県立医科大学)
平成 24 年	奈良県立医科大学 若手研究者国際学会発表助成
平成 25 年	Jリーグ札幌コンサドーレチームドクター



□ 寄附者 学校法人 栗岡学園の概要

- ・ 法 人 名 学校法人 栗岡学園
- ・ 代 表 者 理事長 栗岡 良幸
- ・ 所 在 地 〒575-0013 大阪府四條畷市田原台 6 丁目 1-1
- ・ 事 業 概 要 専門学校および幼稚園運営